

## JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成24年度）

JAバンク栃木（栃木県下JAと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成22～24年度JAバンク栃木中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

この度、平成24年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

#### （JAバンク栃木の農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成25年3月末時点のJAバンク栃木の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は35,516百万円（うち農業経営向け貸付金16,027百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は8,112百万円を取り扱っています。

（注1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

（注2）JAバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

営農類型	25年3月末現在
農業	16,027
穀作	5,204
野菜・園芸	5,401
果樹・樹園農業	1,350
工芸作物	76
養豚・肉牛・酪農	3,962
養鶏・鶏卵	32
養蚕	2
その他農業（注1）	8,080
農業関連団体等（注2）	11,409
合計	35,516

（注1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注2）「農業関連団体等」には、JAや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

**【資金種別別農業資金残高】**

単位 百万円

種 類	25年3月末現在
プロパー資金 (注1)	28,223
農業制度資金 (注2)	7,293
農業近代化資金	5,025
その他制度資金 (注3)	2,268
合 計	35,516

(注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

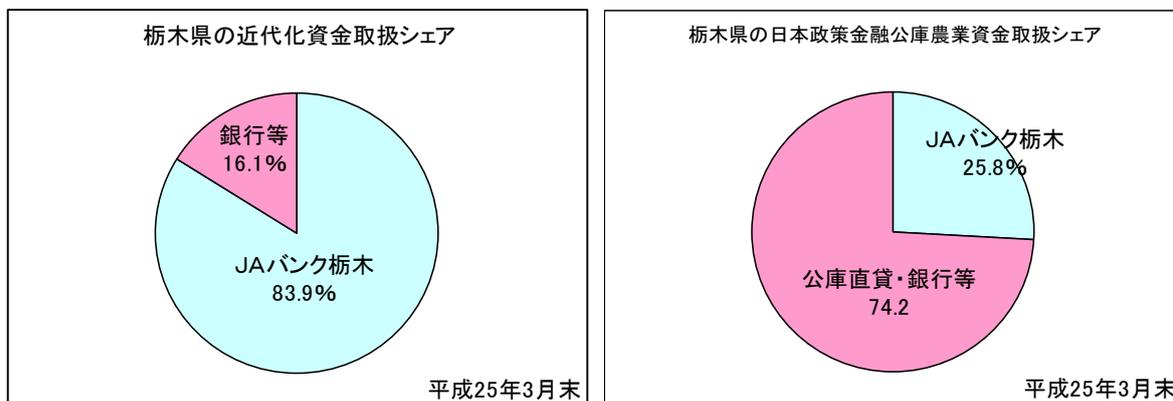
**【農業資金の受託貸付金残高】**

単位 百万円

種 類	25年3月末現在
日本政策金融公庫資金	8,112

(注) JAバンク栃木では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク栃木は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

**【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】**


## (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本・支店（本・支所）の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAの本・支店（本・支所）には69人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポート・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

## (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

### 【具体的取組み事例】

#### a 第8回JAバンク栃木担い手金融リーダー会議

開催日	平成25年3月15日
主催者	農林中央金庫宇都宮支店
参加対象者	農協役職員
参加人数	78名
内容	農家支援の取組み強化を図ることを目的に、農業融資担当者および営農・経済渉外担当者を参集し、開催しました。会議では、有限会社エフ・エフ・ヒライデ代表取締役平出孝司氏を講師に迎え、農業経営の取組みについて理解を深めました。



JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成24年度）(3/11)

b 第13回パワフルアグリフェア

開催日	平成24年7月21, 22日
主催者	JAグループ栃木
総来場者数	県内外より6,065名
内容	パワフルアグリフェア（JAグループ栃木農業機械等統一展示会）に参画し、会場内に設置したJAバンクコーナーにおいて、農業資金等のPRおよび借入相談対応等を実施しました。



#### (4) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

(社)とちぎ農産物マーケティング協会主催の商談会を、農林中央金庫宇都宮支店が全農とちぎ、栃木県と共に共催し、生産者・JAと加工流通業者との橋渡しを行うなど、6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

##### 【商談会開催状況】

商 談 会 名	第6回栃木県農産物等展示商談会
開 催 日	平成25年1月23日
主 催 者	(社)とちぎ農産物マーケティング協会
参 加 団 体 数	176 団体
参 加 人 数	県内外より 2,100 名
内 容	本県産の農産物や食品の販路拡大を目的とした展示・商談会を、宇都宮市マロニエプラザにて開催し、栃木の食文化発展による地域経済の活性化に取り組みました。



## 2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

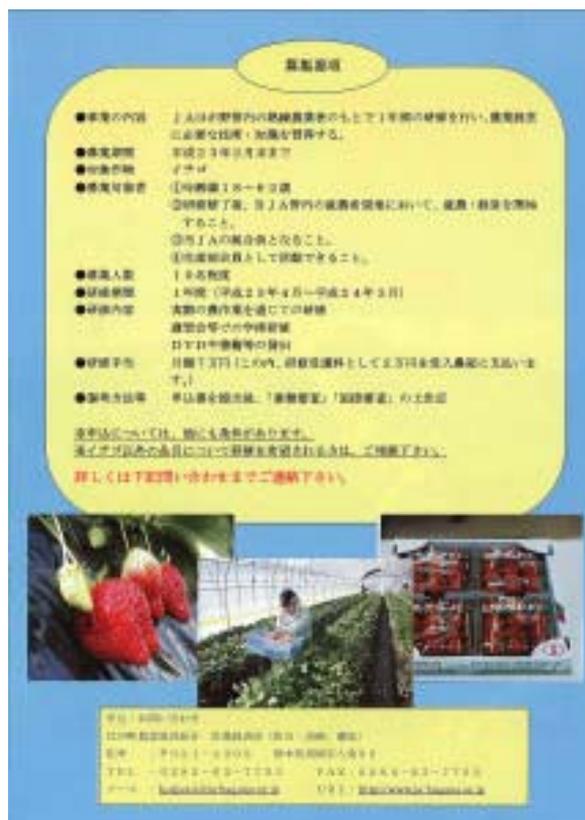
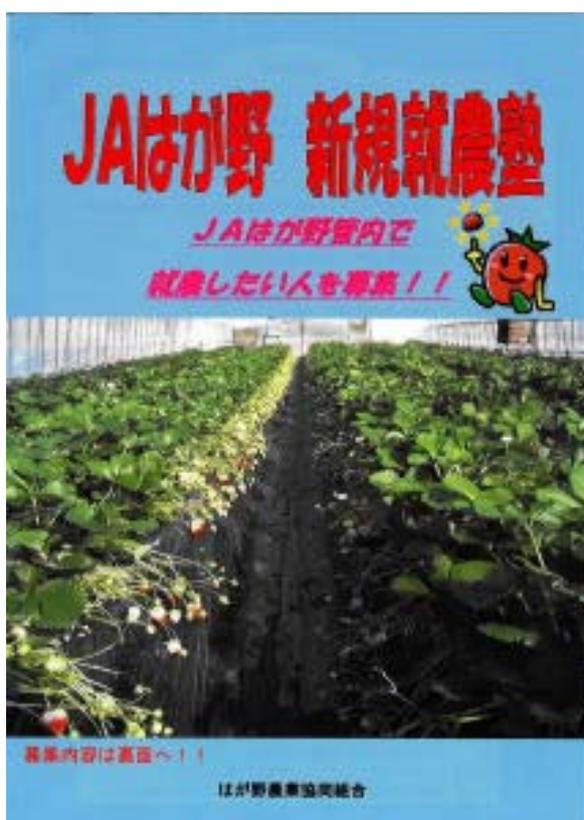
#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

資金名	平成 24 年度 実行件数	平成 24 年度 実行金額	平成 25 年 3 月末 残高
就農支援資金	20	143	790

#### 【具体的取組み事例：JAはが野 新規就農塾】

地域農業の担い手の減少と高齢化により、地域農業を支える担い手の育成・支援は重要課題となっていますが、JAはが野では「JAはが野 新規就農塾」を開設し、新規就農者を支援する環境を総合的に構築し、地域農業の担い手となる人材の確保と育成を図っております。



## (2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

### 【平成 24 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

単位 先

債務者区分	期中経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生 計画を策定し た先数 a	Aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 b	Aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 c	事業計画策定 率 = a / A	ランクアップ 率 = b / A
正常先①	46	4		40	8.7%	
要注意先	うちその他要注意先②	149	2	26	1.3%	17.4%
	うち要管理先③	2	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④	27	5	4	19	18.5%	14.8%
実質破綻先⑤	56	0	4	44	0.0%	7.1%
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
小計(②～⑥の計)	234	7	34	174	3.0%	14.5%
合計	280	11	34	214	3.9%	12.1%

(注) 期中経営改善支援取組先および債務者区分は平成 24 年 2 月末時点でのものです。

### (3) JAバンク栃木講演会・セミナー等の開催

JAバンク栃木および栃木県農業法人協会主催により、農業法人経営者や系統団体等を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

#### 【具体的取組み事例】

セ ミ ナ ー 名	平成 24 年度 栃木県農業経営セミナー
開 催 日	平成 25 年 1 月 17 日
主 催 者	JAバンク栃木, 栃木県農業法人協会
参 加 対 象 者	農業法人経営者, 農協役職員, 行政, 関係団体 等
参 加 人 数	101 名
内 容	<p>第一部 「本県における 6 次産業化の促進について」 講師 栃木県 農政部農政課 農政戦略推進室 副主幹 熊田 欽丈 氏</p> <p>第二部 「どう取り組む？ 6 次産業化」 講師 NHK解説主幹/農政ジャーナリストの会 会長 合瀬 宏毅 氏</p> <p>第三部 交流会</p>



### 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金による負担軽減支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

#### 【平成 24 年度末負債整理資金の貸出状況】

単位 百万円

資金名	平成 25 年 3 月末残高
農業経営負担軽減支援資金（注 1）	8
畜産特別資金（注 2）	97
畜産経営維持緊急支援資金	55
合計	160

(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 災害被災者への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	JA名	内 容	件数	貸付実行金額
東日本大震災に伴う災害資金	JAうつのみや	東日本大震災により被害を受けた組合員に対し、無利子の資金対応をしました。	49	120
福島原発事故に伴う災害資金	JAうつのみや	福島第一原子力発電所事故による畜産の風評被害、出荷停止等により損害を受けた組合員に対し、無利子の資金対応をしました。	12	52
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JAうつのみや	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	1	10
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JAかみつが	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	12	25
東日本大震災に係る災害復旧支援資金	JAはが野	東日本大震災の被災者を対象とした災害復旧支援資金を制定し、低利の資金を融通することで復旧支援に対応しました。(自治体によっては利子補給あり)	141	306
家畜飼料特別支援資金	JAしもつけ	配合飼料価格の上昇に対応し、畜産経営に対する飼料購入に要する資金貸出を行い、畜産の安定的発展を図りました。	1	35
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JAしもつけ	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	3	20
東日本大震災復旧等支援資金	JAしもつけ	東日本大震災に伴い東京電力福島原発事故の放射能汚染風評被害による市場価格の下落、出荷停止による損失のため、資金対応をしました。	2	6
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JAおやま	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	3	16
東日本大地震「災害支援資金」	JA佐野	東日本大震災に伴う原発事故により被害を受けた組合員に対し、利子補給を受け低金利の資金を新設し対応しました。	7	4
東日本大震災農業災害支援資金	JA佐野	東日本大震災に伴う原発事故により被害を受けた組合員に対し、利子補給を受け低金利の資金を新設し対応しました。	3	3
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JA佐野	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	1	2
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JA足利	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	5	19
東日本大震災災害資金	JAしおのや	東日本大震災の被害に対応するための資金として対応しました。	55	122
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金	JAしおのや	東日本大震災に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	5	26
東日本大震災被災者に対する災害資金	JAなすの	東日本大震災被災者へ低利で、制度資金等より比較的簡易な手続きで対応出来るプロパー資金を、農業資金・生活資金等を対象に取扱いを実施しました。	55	114
合計			355	880

## (2) JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク栃木は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 382 校へ、22,330 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

### 【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JA うつのみや	農業体験教室 (アグリスクール)	小学生を対象に、野菜の収穫体験や稲刈りの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取り組みを行いました。
JA かみつが	農業体験学習	小学生を対象に、学校農園で農作物づくりの農業体験学習、地産地消の取り組みとして学校給食への食材提供を行いました。
JA はが野	農業体験教室 (未来ちゃんクラブ)	小学生を対象に、JA管内(真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀)ごとに、それぞれの地域の特色を持った農業体験教室を行いました。
JA しもつけ	農業体験学習	園児・小学生を対象に野菜の定植・収穫体験、ぶどうつみ取り経験、地元野菜等を使った調理実習を行いました。
JA おやま	農業体験学習	小学生を対象に、親子クッキングとして、管内産の食材を使った冷し中華の料理実習を実施し、農業や食料を深める取り組みを行いました。
JA 佐野	農業体験教室 (あぐりスクール「夢」)	小学生を対象に、田植え・野菜収穫・料理教室・農業まつりでの野菜販売を通じて、農業への関心を高める取り組みを行いました。
JA 足利	農業体験学習 (あぐりキッズクラブ)	小学生を対象に味噌作り、小中学生を対象にバケツ稲づくりに取り組み、育成過程の観察等を通じた食農教育活動を行いました。
JA しおのや	農業体験学習	園児・小学生を対象に、サツマイモの定植・収穫の農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取り組みを行いました。
JA なすの	農業体験学習	小学生を対象に、農作物(落花生、里芋、そば等)の種まきから収穫、調理して食べるまでの農業体験や調理実習を行いました。
JA なす南	児童作品展覧会	園児・小中学生を対象に、農業を題材に募集した書道・絵画をJAまつりの際に食農教育コーナーを設け展示いたしました。

以上